



週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1083 回(4 月 26 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 我等の生業
第 2 副 SAA 古谷君 稲見君
卓話講師 活性化セミナー研究所
渡辺高德様

が砲丸づくりを手伝っていましたが、どうしても最終の仕上げで上手く行かず、「親父、まだちょっと無理だよ」と言っていたそうです。「親父を越える製品が出来なければ、俺は出さない」と言ってるからです、辻谷工業さんの砲丸は見られないかも知れませんね。

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35名	23名	64.71%	71.43%



パスト会長の時間

若松パスト会長



皆さん、こんにちは今日は久しぶりに「会長の時間」の機会をいただきました。少々あがっておりますが、最後までよろしく願いいたします。

今年はブラジルのリオでオリンピックが開催されます。数あるオリンピックの種目の中で、日本が最も不得意とする競技に「砲丸投げ」があります。大柄で屈強な選手が砲丸を肩に乗せ、渾身の力を込めて投げ、飛距離を争う競技ですが日本人は体力差で太刀打ちできないのです。世界中の選手達から愛用される砲丸を作っていたのが日本人であります。今日はその話をしたいと思います。

その会社と言うか、作者は直ぐ近くの富士見市にあります。(有)辻谷工業の代表者でありました辻谷政久さん、実は残念な事に今年の9月に死去されております。(82歳でした)

辻谷さんには3人の息子さんがおられて、3男

辻谷さんが作った砲丸が最初にオリンピックで採用されたのが1988年のソウルオリンピックの時、しかしその当時はどの選手も辻谷さんの砲丸を使わなかった。

選手にしてみれば、この大一番の為に厳しい練習を積み重ねてきたわけで、無名で実績のない初採用の砲丸を手取るリスクを避けたかったのでしょうね。辻谷さんは丹精込めて作った砲丸が誰にも使ってもらえないので悔しさはあったはずですが、ここで諦める辻谷さんではありませんでした。どうしたら使ってもらえるか、その研究を始めました。

ある日の工場の近くの土手で試し投げをしていた時、ある事に気付かれました。「同じ重さの砲丸でも飛ぶ距離が違う。それを調べてみると飛ぶ砲丸は平らな場所に置いても転がらない。しかし、飛ばない砲丸は転がってしまう。

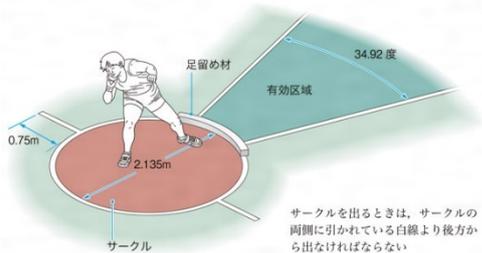
『あつ、重心か』とひらめいたんですね。そこで、既にオリンピックで使用実績のある砲丸

を取り寄せ、それを半分に割ってみると、海外の砲丸はNC旋盤(コンピューター制御の工作機械)で作られていた。

これだと国際規格の重さに合わせるのが難しく、対策として砲丸に穴をあけたり、鉛を入れたりして規格に適合するようにします。そうすると重さは合うけれど重心がズレまくる。重心を砲丸の中心に持って来れば、選手に受け入れてもらえる！辻谷さんはそう確信しました。

しかし、重心を中心にもってくる事は至難の業でした。一つの材料の中でも、密度の濃い、薄いがあるからです。

そこで辻谷さんは鑄物の町として有名な川口市にある鑄物工場で修業を積みます。良い製品を作るには、先ず材料の事をよく知ろうという思いからです。



そんな苦勞をしながら少しづつ良い物を作れる様になるのですが、鉄というのは実に難しいんだそうです。

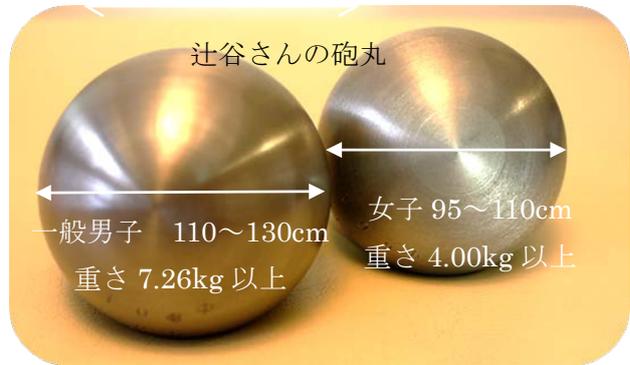
春夏秋冬で違うし、中でも入梅時期は最悪、湿度が多くておまけに鑄造する時には、原料の鑄鉄を砂の型に流し込むんですが、その砂型の水分の含みが毎日変わってくることです。「鉄の鑄物は恐ろしい」と言われていますが、物づくりって奥が深いですよね。こうした色々と試行錯誤を重ねて良品を作り上げます。

そして次のバルセロナ(1992)では一つの工夫を入れます。それまでの砲丸はツルツルでしたが、そこに筋模様を入れました。

すると面白い事が起きました。納品した32個の内、約半分が本番前に紛失したのです。選手が自国での練習用にと無断で持ち帰ったのです。無くなったと聞いて喜んだのは辻谷さんだけで、確かな手ごたえがあったようです。この大会でのメダルは銀メダル1ケでした。続くアトランタ(1996)、シドニー(2000)、では金、銀、銅を独占！辻谷さんの砲丸は一躍人気となります。

しかしその後、表面に筋を付けるのは禁止となり

ます。「ならば重心をもっと真中にしよう」と考えられます。その時点で重心は10分の2(2/10)ズレていたんだそうですが、辻谷さんは前向きに挑戦をされます。



次のアテネオリンピック(2004)、日本の記者に世界トップ4選手が「今回は日本製ないのか？」と聞かれました。事情を話すと彼らは納得してツルツルの辻谷さんの砲丸を使用します。結果は金、銀、銅独占。4位だったスペインのマルチネス選手はインド製を使用。

競技後「日本製を使っていれば・・・」と嘆いたそうですけど後の祭りです。次の北京オリンピック(2008)、何故か辻谷さんは、あれだけ心血を注いだ砲丸の納品をしませんでした。

この人は心の底から日本人なのですね。実はオリンピックの前年に行われたサッカーのアジアカップ中国大会での「日本バッシング」や日本大使館への投石などを見て、「この国はオリンピックを開催する資格がない」と感じられたからだそうです。

次のロンドンオリンピック(2012)も納品されなかったので名人の作品は最後になりました。

実は別のエピソードもあって、2001年春に辻谷さんは海外メーカーから週給2万ドルで技術ライセンス譲渡を条件に技術指導に来て欲しいとオファーがあったそうです。辻谷さんは「鑄物屋さんの協力なくして、ここまでの砲丸は出来ない。日本発の技術は大切に守らないといけない」と言ってお断りしました。何かと日本のコア技術が流出する時代に大変うれしい話ですよ。

私の会社もモノづくりを追及していますが、我々はマニュアルに沿って追う事が出来ますが、辻谷さんの砲丸は月が変わるとマニュアルが通用しない。これを成し遂げられた辻谷さんは凄いですね。今回は職人の技術万歳の話でした。



「外来卓話」・・・・・・・・・・

「定年後のお金」について
活性化セミナー研究所・講師
渡辺高徳様



・プロフィール

13歳のときに、父親が経営していた自動車部品の下請け工場（東京）で働き始める。見よう見まねで旋盤の操作を覚える。

- ・1959年(S.34年)辻谷工業設立
- ・1968年(S.43年)この頃から砲丸製作を始める
- ・1974年(S.49年)富士見市に転入(水谷東2丁目)

☆受賞歴

- ・日本クリエイション大賞(ニッポンもの作り賞)
- ・厚生労働大臣賞(現代の名工)平成17年度
- ・経済産業大臣賞(元気なモノ作り中小企業300社)
- ・秋の褒章受章春秋褒章(黄綬褒章)平成20年

幹事報告

小島幹事

1. 2570 地区米山記念奨学学友会総会及び 2016 学年度新規奨学生歓迎会について。
2. 受贈会報 所沢 RC
3. 回覧物 学友会ニュース 2016年4月号
市内2RC 新春合同例会収支報告

委員会報告

佐藤エレクト



パスト会長の時間、若松パスト会長楽しみです。そして、外来卓話の渡辺高德様ようこそお越しくございました。勉強させていただきます。

清水君 例会欠席致しました。

若松君 今日貴重な時間を頂きありがとうございます。ありがとうございました。



江原君 本日の外来卓話をお願いしております、渡辺高德様「定年後のお金」についてのお話し楽しみにしております。大分興味深いお話しだと思っております、何卒宜しくお願い致します。また、若松パスト会長本日の会長の時間をお引き受け下さり有難うございました。いつも若松パスト会長のお話しを楽しみに伺っております。

小島君 渡辺高德様ようこそおいで頂きました。お話し楽しみにしておりました。宜しく宜しくお願い致します。若松パスト会長、今回も楽しいお話し期待しております。

浜野君 活性化セミナー研究所・講師、渡辺高德様ようこそお越しくございました。卓話楽しみにしています、宜しく宜しくお願い致します。若松パスト会長、会長の時間宜しく宜しくお願い致します。

稲見君 今日私の同級生、渡辺高德君のお話しです。皆様どうぞよろしく！

益子君 本日の外来卓話渡辺様、パスト会長の時間の若松パスト会長お話し楽しみにしておりました。

栗原(成)君 業界の総会がありますので早退します。

佐藤君 本日は、初夏の陽気で服装が大変ですね。

※次の例会 第2副SAA 小林君 肥沼君

5月17日(火) 12:30~13:30

会員卓話 清水会員 佐々木会員